

平成 25 年 9 月定例会・市長提案説明

それでは、9月定例会の開催に当たり、所信の一端を申し述べるとともに、今議会に提案いたしました議案の概要について御説明申し上げます。

折しも本日8月30日から、気象庁は従来の注意報や警報に加え、特別警報の運用を開始いたしました。特別警報は東日本大震災による大津波のような、警報の発表基準をはるかに超える現象が予想され、重大な災害が起こるおそれ著しく大きい場合に発表されます。特別警報が発表された場合、ただちに適切な行動がとれるように日頃から心がけておくことが大切であります。

本市に大きな被害をもたらした平成20年8月末豪雨から5年が経過いたしますが、最近では、全国各地でゲリラ豪雨が発生しております。本市では、床上浸水対策として、河川の緊急改修を本年度も引き続き進めてまいります。また、南海トラフ巨大地震につきましては、これまで以上の重大な被害が想定されています。更なる防災力の向上を図るため、ゆかりのまち2市1町及び西三河9市1町と災害時の相互応援協定を締結するとともに、民間団体とも災害時の施設利用に関する協定を締結いたしました。

これまでも公共施設の耐震化など様々な防災対策を進めてまいりましたが、これからも市民の皆様の暮らしを守るために努めてまいります。9月1日の防災の日には、消防団の区域ごとに21の小学校を会場として、地域総合防災訓練を実施いたします。この市民参加の地域訓練は、防災意識の高揚と実践的な災害対応力の向上を図ることを目的としたものです。また、本年度は新たに、シェイクアウトと呼ばれる訓練を採り入れ実施してまいります。これは、大規模地震を想定しまして、当日の午前8時30分に、市民の皆様に“姿勢を低く、頭を守り、じっとする”といった地震から身を守るための安全行動を一斉に行っていただくものです。ぜひ多くの方にご参加いただき、全市一丸となって災害に強いまちづくりを進めていきたいと思っております。

次に、私の目指すまちづくりの一つの柱として、歴史観光に力を入れてまいりたいと考えております。市内各地にある徳川家にまつわる歴史遺産を始め、古くからの歴史文化遺産を、まちづくりや新しい経済の柱として活用しない手はないと思っております。その第一歩が私の提唱する「ツインブリッジ計画」であり、国の「かわまちづくり推進事業」に連動した「リバーフロント構想」であります。本市の特性、置かれている状況を踏まえて、市民の皆様のご意見や投資効果も考慮した上で、持ち味を活かしたまちづくりを考えていきたいと思っております。

本日も、橋をモチーフとしたデザインのネクタイと葵の紋のネクタイピンを付けておりますのも、そんな私の決意の表れであります。

本年度におきましても、歴史遺産を活かした観光のまちづくりに向けて、各

種事業を展開しておりますので、それら事業について御報告させていただきます。

まずは、観光客誘致のための一連の夏まつりについてであります。その先駆けとして岡崎活性化本部が主催した「岡崎城下家康公夏まつり」が開催されました。今年、開催期間を昨年より1日から6日間に、そして開催場所も岡崎公園を中心として伝馬通り、乙川河川敷に広げ、期間、区域とも大幅に拡大して開催されました。集客数につきましても日に日に数字を伸ばし、目標の9万人を上回る12万5千人を集めることができました。

また、8月3日の市と観光協会主催の「岡崎観光夏まつり第65回花火大会」は、前年を上回る48万人の人出となり、たいへんな賑わいとなりました。

家康公夏まつりにつきましては、活性化本部主催による初めての試みであり、決して今回が完成された形というわけではありません。今後、皆様のご意見もお聞きし、さらに多くの方にお越しいただき、楽しんでいただけるよう工夫を重ねてまいります。

続きまして、徳川家康公顕彰四百年記念事業の一環として、来月22日に岡崎市、浜松市、静岡市の3市で同時開催いたします「家康公検定」ですが、7月25日に受付を締め切ったところ、全国から3市合計1,314名、このうち岡崎会場へは671名もの受験申込をいただきました。家康公のご威徳や生誕地としての岡崎を広く発信し、平成27年の家康公顕彰四百年に向けて地域の活性化を図りたいと考えております。

また、市内の観光資源を整理し様々なテーマごとにコースを設定し観光案内所などで配布しております「ミニ観光ガイドマップ」であります。観光客の方はもとより市民の皆様にも岡崎の魅力を再発見していただくため、来月初旬には各支所などへ配置箇所を拡大いたします。秋以降も新たなコースメニューを考案し、年度末までには12種類のマップを30箇所を提供する予定であります。

次に、8月10日から開幕いたしました「あいちトリエンナーレ2013」につきましては、残暑厳しいなかでも、初日には1,000名を超える方々が岡崎会場にご来場いただき、現代アートはもちろんのこと、歴史と文化の息吹を感じる岡崎の街歩きも同時に楽しんでいただいております。会期は、まだ58日間ありますので、皆様も是非、トリエンナーレ会場に足をお運びいただきますようお願いいたします。

トリエンナーレとタイアップした新たな企画、「おかざきコウエンナーレ」につきましても、毎週金曜日と土曜日のオカザえもんショーには、毎回200名近くの方にお越しいただいております。また、ジャズの街岡崎ならではの、岡崎

公園東隅櫓における、まちなかジャズスペースにも、週末には多くのジャズファンの方にご来場いただいております。今後もトリエンナーレと共にPRに努めてまいります。

また、トリエンナーレを始め、岡崎の文化を強力に発信していただく、岡崎アート広報大臣「オカザえもん」ですが、ご承知のとおり、ご当地キャラ総選挙2013では全国第2位に輝き、現在、ゆるキャラグランプリ2013にもエントリーして、本市を大いにアピールしていただいております。岡崎観光みやげ店のオカザえもんグッズにつきましては、当初の1か月間で300万円を超える売り上げがありました。引き続き、今一番ホットで話題性があるオカザえもんの力をお借りすることにより、トリエンナーレを成功させ、岡崎公園の観光客増加や経済振興の面にも結びつけていきたいと考えております。

これから秋にかけて、まだまだイベントが続きます。この機会に多くの方が岡崎を訪れ、その素晴らしさを知っていただければ幸いです。なお、市民の皆様一人一人がお客様をおもてなしする案内人になったつもりでご協力いただければ、大変ありがたく思います。

次に、完成が近づいてまいりました施設についてご報告申し上げます。

市民病院におきましては、平成23年度に着工し工事を進めてまいりました新棟が9月に完成いたします。名称を「西棟」として、10月1日から50床を稼働し、10月15日には外科、産婦人科、血液内科などの外来部門が移動拡充して診療を開始いたします。また、放射線治療装置を新たに導入し、使用開始のための手続や機器の調整を行った後、来年2月末頃に実際の治療を開始する見込みであります。これらにより市民病院の満床状態の解消、がん診療の充実を図ってまいります。

また、昨年度から進めております若松保育園の園舎建替につきましては、順調に工事が進んでおり、11月末に完成し、12月には新しい園舎で保育がスタートする予定です。定員を150名から30名増加して180名とし、保育の充実を図ってまいります。また、保育園では初めて太陽光発電パネルを設置し、環境にも配慮しております。新しい園舎の完成を心待ちにしている子どもたちのためにも、今後も安全第一で工事を進めてまいります。

さて、対話と信頼の市政を実現するため、7月25日から市民対話集会を順次開催しております。既に1月から、各業界・団体などで30回程講演を行ってまいりましたが、これからは場所を地域に移し、私自身が出向いて、私が考える施策の説明を行うとともに、地域の課題などの意見交換を行っております。3月までに10か所程度、各学区に何う予定であります。その場で皆様からいただ

いた貴重な御意見や情報を生かして、今後も様々な施策を着実に実施してまいります。なお、時間の都合で発言の機会を得られなかった方にも、閉会后、私が残りに、個別にお話を伺ったり、あるいは事後、市役所からご連絡して対応させていただきますようにしております。

それでは、次に本会議に提案いたしております議案につきまして、御説明させていただきます。

今議会には、平成24年度の一般会計、特別会計及び企業会計の決算認定議案を提出させていただいておりますので、その概要につきまして御説明申し上げます。

まず、一般会計であります。

歳入・歳出の決算額は、ともに前年度を上回りました。純剰余金につきましても、約53億円となり、前年度対比165.7%と大きく増加し、過去最高額となりました。そのうち40億円につきましては、財政調整基金に積み立てさせていただきました。

歳入では、市税が前年度対比で100.7%と若干ではありますが23年度を上回りました。税収が前年度を上回るのは、2年連続となります。

歳出では、普通建設事業費が前年度対比172.4%と大幅に増加いたしました。当初予定しておりました、東部地域交流センター、道の駅藤川宿、東岡崎駅橋上東改札口、翔南中学校などを完成させることができました。また、占部川改修、矢作桜井線などの大型継続事業につきましても、着実に推進を図ってまいりました。

平成24年度は、景気回復の兆しが見え始め、税収が当初見込みを上回りました。また、土地の売払いを積極的に行い、売払収入も増加したことなどから、補正予算において、財政調整基金や公共施設保全整備基金に積立てを行いました。公共施設保全整備基金は、老朽化する公共施設の長寿命化を図るため、計画的な保全整備を行うための財源として新たに設置したものです。決算剰余金の積立てとともに、将来の財政需要にも備えることができたものと考えております。

次に、特別会計であります。

12会計の決算合計では、純剰余金は11億8,254万円となり、前年度対比49.1%と大きく減少しました。これは、前年度において純剰余金が最も大きかった下水道特別会計が企業会計に移行したためです。また、土地区画整理事業清算金特別会計が平成23年度で廃止となりましたので、前年度決算と比較すると2会計減少しています。

続きまして、企業会計であります。

病院事業会計では、診療報酬の改定や医師・看護師の配置などによる新規診療報酬項目の獲得などにより診療単価が上がり、収益的収入は前年度に比べて増収となりました。一方、新棟のスタッフを先行して採用したことなどにより、収益的支出も増加することとなりました。その結果、純利益は前年度と比べて減少したものの4億2,825万円となり、4年連続の黒字となりました。

水道事業会計では、水道料金を含む収益的収入は前年度を下回りましたが、県水受水費の減少により収益的支出も減少し、結果として、純利益は前年度を上回る10億3,607万円となりました。

最後に、下水道事業会計であります。下水道接続戸数は12万562戸で、普及率は86.04%となっております。企業会計に移行して最初の決算は、純損失8,842万円の赤字となりました。

次に、条例議案であります。全て一部改正条例でありまして、地方税法の改正に伴い個人市民税における公的年金受給者に係る特別徴収制度に関する規定などを整理する「市税条例」、火葬場の整備に伴う施設の管理を指定管理者に代行させることができることとする「火葬場条例」、大西町ほかの地区整備計画を定めた区域内での建築物の高さ等の制限を定める「地区計画の区域内における建築物制限条例」、農業委員会の各選挙区の選挙人の数におおむね比例するよう選挙区の委員定数を見直す「農業委員会の選挙による委員の定数及び選挙区に関する条例」など5件を提案させていただいております。

その他議案といたしましては、中島町地内における地域交流センター六ツ美分館第2期建設工事、檜山町地内ほかにおける新学校橋橋りょう上部工事などの「工事請負契約議案」4件を提案させていただいております。

続きまして、補正予算議案であります。

一般会計は2億573万2千円の増額、特別会計は3会計で6億8,513万9千円の増額、企業会計は1会計で予算の組替えをお願いしております。

まず、一般会計の主な補正内容であります。

歳出の民生費では、障がい者福祉施設のスプリンクラーの整備に対する補助金や高年者センター岡崎の駐車場用地の購入費を計上しております。農林業費では、牧内カントリーエレベーターの集塵装置の再整備に対する補助金や日影ダムに設置しています流量調節ゲートの撤去工事費の計上、補助採択のありました、ため池の耐震診断委託料やあいち森と緑づくり人工林整備事業による間伐を推進するための委託料の増額をお願いしております。土木費では、国からの道路ストック総点検の実施要請に基づく道路照明灯の点検管理委託料や乙川リバーフロント地区整備推進の周知を図るためのポスターと作文のコンクール開催委託料、不特定多数が利用する大規模建築物の耐震診断費用に対する補助金を計上しております。教育費では、あいちトリエンナーレ2013の会期終了後

においても、オカザえもんなどによる文化情報を発信するための委託料や市指定有形民俗文化財である矢作2区祭礼山車の保存修理に対する補助金を計上しております。

なお、これら補正の財源といたしまして、歳入では、国庫支出金、県支出金、繰越金などを増額補正しております。

次に、特別会計であります。主に前年度決算が確定したことに伴う補正であります。

国民健康保険事業特別会計の事業勘定では、療養給付費等の精算に伴う返還金を計上、後期高齢者医療特別会計では、保険料負担金の過年度精算に伴う広域連合への保険料等負担金を増額しております。また、介護保険特別会計では、介護給付費等の精算に伴う返還金や決算剰余金を基金へ積み立てるための補正を計上しております。

最後に、企業会計は、病院事業会計において、歳出予算の組替えと寄附金による財源更正を行うものであります。

以上が、今議会に提案いたしました議案の大要であります。

最後になりますが、私が市長になって初めて議会に臨んだのが昨年11月の臨時会でありました。それ以降、定例会ごとに提案説明をさせていただき、早いもので今回で1年間の全ての定例会に臨むことになるわけですが、そのたびに市政の舵取りを任された責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いがいたします。これからもこの気持ちを忘れることなく、「次の新しい岡崎」を目指して邁進してまいります。

議員各位の一層の御理解、お力添えを心からお願い申し上げますとともに、今回提出しております諸議案につきましては、よろしく御審議の上、御議決を賜りますようお願い申し上げます。説明を終えさせていただきます。

ありがとうございました。